

(様式第1号)

## エネルギー供給温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

### 1 事業者等の概要

氏名又は名称	パナソニック株式会社				
代表者名	氏名	津賀 一宏	役職名	代表取締役社長	
主たる事務所の所在地	〒571-8501 大阪府門真市大字門真1006番地				
事業者の区分	<input checked="" type="checkbox"/>	条例施行規則第15条第2項に該当する小売電気事業者			
	<input type="checkbox"/>	その他の事業者			
主たる事業の概要	・弊社は、2005年6月より特定規模電気事業を開始し、主に自社グループの工場やオフィスビルへの電力供給を行っています。				
電力供給量(総量)	265,427	千kWh	電力供給量(長野県)	12,513	千kWh

### 2 計画期間及び報告対象年度

計画期間	2017	年度	～	2019	年度	報告対象年度		年度
------	------	----	---	------	----	--------	--	----

### 3 公表方法等

<input type="checkbox"/>	ホームページ	
<input type="checkbox"/>	印刷物の閲覧 (閲覧場所・時間等)	
<input checked="" type="checkbox"/>	その他	担当部署へ問い合わせ 【担当部署】 パナソニック株式会社 グローバル調達社 原材料トレーディングセンター エネルギー課 Mail: citd.gm-jepx@gg.jp.panasonic.com

#### 4 エネルギーの供給に係る地球温暖化対策のための基本方針

- 発電事業等に係る取組方針
  - ・ 自社での発電事業なし
- その他の温暖化対策に係る取組方針
  - ・ 再生可能エネルギーによる電力を積極的に調達していきます。
  - ・ 必要に応じ、京都メカニズムを活用し、CO2クレジットの獲得を検討していきます。

#### 5 エネルギー供給温暖化対策計画の推進に係る体制

- 全社においては品質・環境本部が中心となって施策を推進
- 電力の供給における具体的な取組みはグローバル調達社が実施。

(様式第1号)

6 供給するエネルギーの製造等に伴い排出される二酸化炭素の抑制に関する目標等

基準年度	実排出係数	0.000624	t-CO2/kWh
2016年度	調整後排出係数	0.000729	t-CO2/kWh
目標年度	目標排出係数	0.000443	t-CO2/kWh
2019年度	目標削減率	29.10	%
目標設定に関する説明	環境負荷の低い太陽光とバイオマス発電所からの電力調達を行うことで排出係数を削減する。		
第一年度	実排出係数		t-CO2/kWh
	調整後排出係数		t-CO2/kWh
年度	エネルギーの製造等に伴い排出されたCO2量		千t-CO2
排出係数等の増減理由			
第二年度	実排出係数		t-CO2/kWh
	調整後排出係数		t-CO2/kWh
年度	エネルギーの製造等に伴い排出されたCO2量		千t-CO2
排出係数等の増減理由			
第三年度	実排出係数		t-CO2/kWh
	調整後排出係数		t-CO2/kWh
年度	エネルギーの製造等に伴い排出されたCO2量		千t-CO2
排出係数等の増減理由			

(様式第1号)

7 上記6の目標を達成するための措置

以下3点の取組みにより、CO2排出係数の低減を図っていきます。  
 ①より環境負荷の低い化石燃料により発電された電力の調達（例：石炭火力⇒LNG火力）  
 ②再生可能エネルギーによる電力の積極的な調達  
 ③必要に応じた京都メカニズムの活用

8 調達する電気の電源構成に関する見通しと実績

区分		調達する電気の電源構成の割合（W・h比）								
		石炭火力		原子力		再生可能エネルギー源 （水力及びFIT電気を除く）				
基準年度		10	%	0	%	0	%			
		LNG火力	31	%	0	%	卸電力取引所 <sup>※3</sup>	28	%	
2016	年度	石油火力	0	%	FIT電気 <sup>※2</sup>	11	%	その他（ ）	20	%
最終年度 における 見通し <sup>※1</sup>		石炭火力	0	%	原子力		%	再生可能エネルギー源 （水力及びFIT電気を除く）		%
		LNG火力	20	%	水力		%	卸電力取引所 <sup>※3</sup>	20	%
2019	年度	石油火力		%	FIT電気 <sup>※2</sup>	50	%	その他（ ）	10	%
第一年度		石炭火力		%	原子力		%	再生可能エネルギー源 （水力及びFIT電気を除く）		%
		LNG火力		%	水力		%	卸電力取引所 <sup>※3</sup>		%
	年度	石油火力		%	FIT電気 <sup>※2</sup>		%	その他（ ）		%
第二年度		石炭火力		%	原子力		%	再生可能エネルギー源 （水力及びFIT電気を除く）		%
		LNG火力		%	水力		%	卸電力取引所 <sup>※3</sup>		%
	年度	石油火力		%	FIT電気 <sup>※2</sup>		%	その他（ ）		%
第三年度		石炭火力		%	原子力		%	再生可能エネルギー源 （水力及びFIT電気を除く）		%
		LNG火力		%	水力		%	卸電力取引所 <sup>※3</sup>		%
	年度	石油火力		%	FIT電気 <sup>※2</sup>		%	その他（ ）		%
備考										

※1 「最終年度における見通し」欄には、基準年度時点における事業者の電気の調達計画等の見通しに基づき、特定期間の最終年度を算定期間とする電源構成の概算の見込み割合を記載する。  
 ※2 「FIT電気」とは、電気事業者による再生可能エネルギー電気の調達に関する特別措置法に基づく認定施設から買い取られた電気で、その調達費用の一部が全電気利用者が負担する賦課金により賄われている電気を指す。  
 ※3 「卸電力取引所」とは、電力の卸取引を行う取引所であって、電気事業法第97条第1項に規定される指定を受けた卸電力取引所を指す。

(様式第1号)

9の1 再生可能エネルギー源により発電された電気の調達量に関する見通しと実績

区分	調達量				再生可能エネルギー源の種類 (内訳)				
					電源	種類別調達量			
	県内分		再生可能エネルギー 電気 (FIT電気を除く)	FIT電気					
基準年度	44,590	千kWh	1,764	千kWh	太陽光		千kWh	15,342	千kWh
					風力		千kWh		千kWh
					水力		千kWh		千kWh
					バイオマス		千kWh	29,248	千kWh
					その他 ( )		千kWh		千kWh
2016年度									
最終年度 における 見通し	70,000	千kWh	3,000	千kWh	太陽光		千kWh	30,000	千kWh
					風力		千kWh		千kWh
					水力		千kWh		千kWh
					バイオマス		千kWh	40,000	千kWh
					その他 ( )		千kWh		千kWh
2019年度									
第一年度		千kWh		千kWh	太陽光		千kWh		千kWh
					風力		千kWh		千kWh
					水力		千kWh		千kWh
					バイオマス		千kWh		千kWh
					その他 ( )		千kWh		千kWh
年度									
第二年度		千kWh		千kWh	太陽光		千kWh		千kWh
					風力		千kWh		千kWh
					水力		千kWh		千kWh
					バイオマス		千kWh		千kWh
					その他 ( )		千kWh		千kWh
年度									
第三年度		千kWh		千kWh	太陽光		千kWh		千kWh
					風力		千kWh		千kWh
					水力		千kWh		千kWh
					バイオマス		千kWh		千kWh
					その他 ( )		千kWh		千kWh
年度									
備考									

(様式第1号)

## 9の2 再生可能エネルギーの普及・供給拡大に関する取組

<ul style="list-style-type: none"><li>・PPS法に基づく基準利用量を達成していきます。</li><li>・当年度は新エネルギー等電気相当量を商社から購入する予定です。</li></ul>
--

## 10 エネルギーの供給に係る温室効果ガス排出抑制の研究と取組

<ul style="list-style-type: none"><li>・業界最高レベルの発電効率を誇る太陽光パネルの研究開発を進めております。</li><li>・家庭内のエネルギーの最適化をめざす、横浜スマートシティプロジェクト(YSCP)デマンドサイドマネジメント(DSM)実証実験を開始しました。</li></ul>
---

## 11 需要家の省エネルギー対策の推進に関する取組

区分	実施内容
高効率機器の普及促進	<ul style="list-style-type: none"><li>・省エネ家電の開発を行い省エネルギー化を促進。</li></ul>
家庭・事業者の省エネルギー対策への協力	<ul style="list-style-type: none"><li>・家庭用燃料電池システムの普及に向けた販売</li><li>・従来の照明器具に装着できるLED照明の開発を実施</li></ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"><li>・30分毎の電力使用実績を各需要家に提供していきます。</li><li>・関連省庁および長野県の環境関連政策に関する情報収集に努め需要家に提供していきます。</li></ul>

※ 需要家に対して節電や省エネを誘導する料金体系を導入している場合は、「その他」に記載する。

(様式第1号)

12の1 地域との連携に関する取組の実施状況

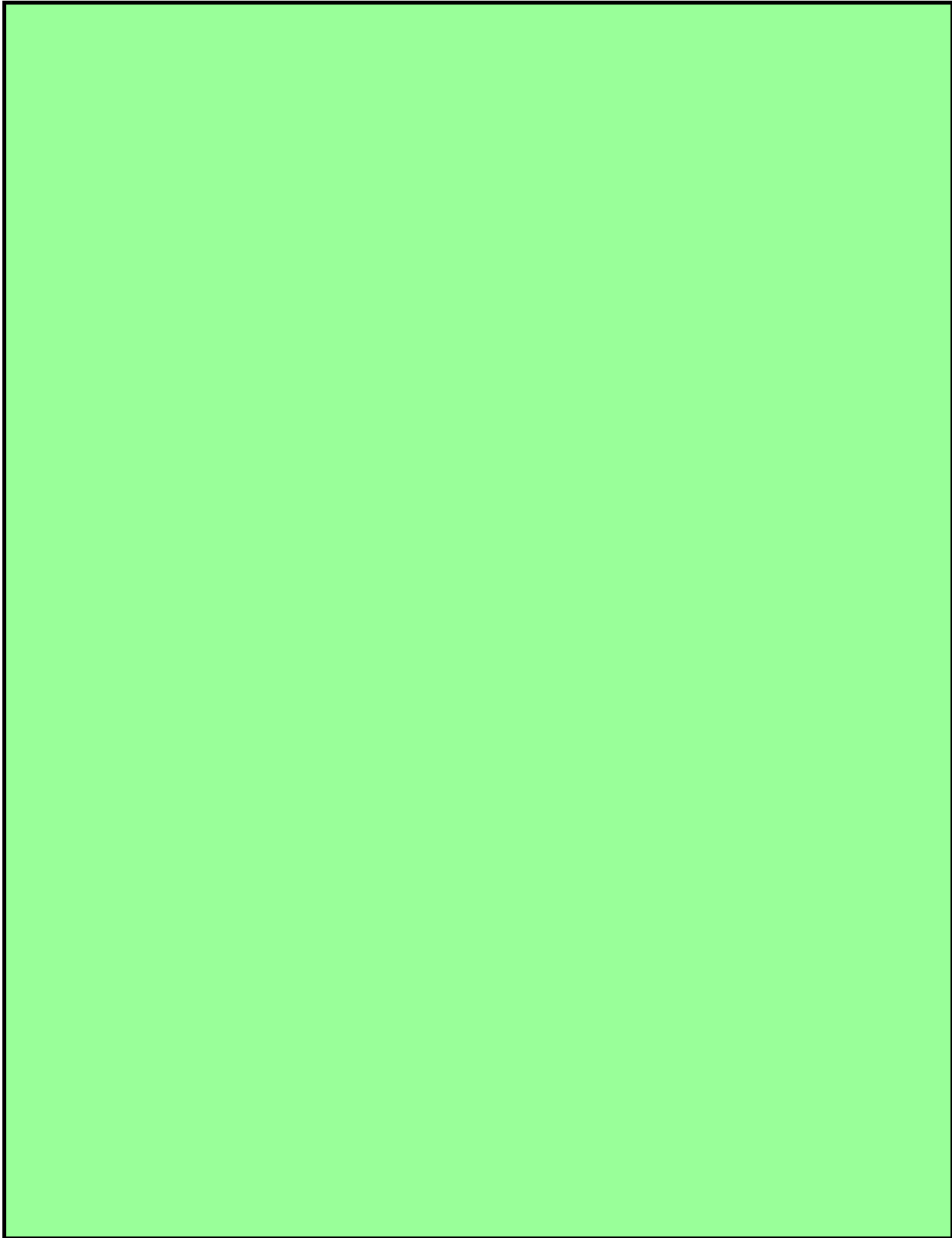
基準年度までに実施した内容	<ul style="list-style-type: none"><li>・2014年11月にFujisawa サステイナブル・スマートタウン街びらきました。</li><li>・電動アシスト自転車及び充電ロッカーと可搬式自転車駐輪システムを連携させた新しいシェアサイクルシステムの実証運用をスタートさせました。</li><li>・2012年から工場見学受け入れを再開から、2016年度4校を加え、1,200人以上の春日井市の小学生のみなさんにご見学いただきました。</li><li>・2011年より、小学5年生を対象として環境に関する出前授業を実施。延べ43校で実施。</li></ul>
第一年度実績	
第二年度実績	
第三年度実績	

12の2 その他、温暖化対策に関する取組の実施状況

区分	実施内容
基準年度までに実施した対策	<ul style="list-style-type: none"><li>・独自の指標「CO2削減貢献量」を導入し、「商品（省エネ、創エネ）」「生産活動」の2つの切り口で削減取り組みを加速しています。</li><li>・グリーンプロダクツの創出により、商品使用時のCO2排出量を削減。</li><li>・生産工程の省エネなど各種取組みで、CO2排出量を削減。</li></ul>
第一年度実績	
第二年度実績	
第三年度実績	

(様式第1号)

1.3 自由記載欄

A large, empty rectangular box with a black border, intended for free text entry. The box is currently blank and occupies most of the page area below the header.